

## 平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立雀宮南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日

平成31年4月18日(木)

#### 3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

#### 4 本校の参加状況

① 国語 66 人

② 算数 66 人

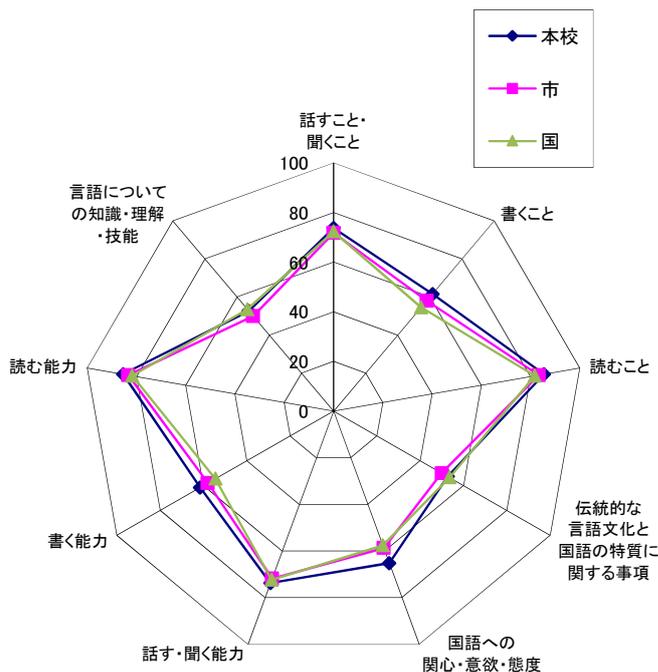
#### 5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	73.7	71.8	72.3
	書くこと	61.6	58.0	54.5
	読むこと	85.4	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	52.7	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	65.2	58.7	57.6
	話す・聞く能力	73.7	71.8	72.3
	書く能力	61.6	58.0	54.5
	読む能力	85.4	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	52.7	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

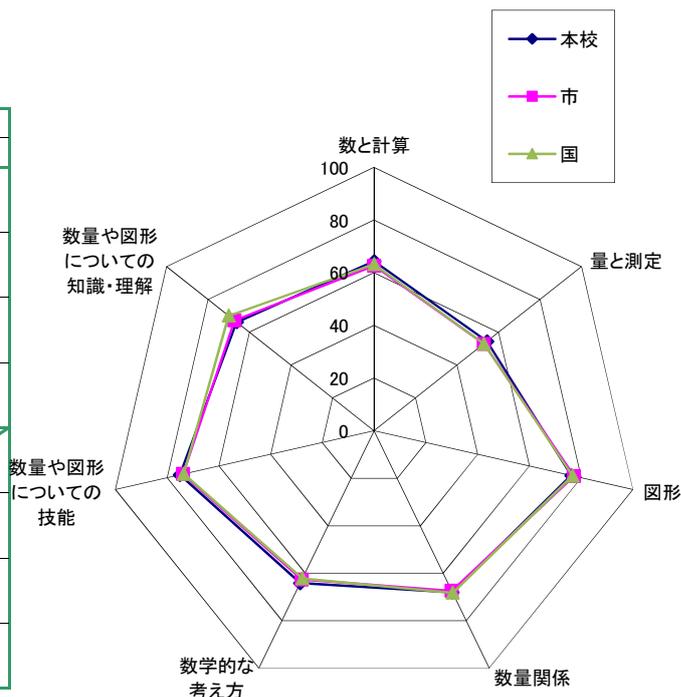
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均を1.9ポイント上回った。</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認する質問を選択させる問題の正答率が高い。グループ学習で意見交換をさせる際に、質問しながら理解を深める活動に取り組んできた成果であると考えられる。</p> <p>●相手の思いや考えに着目して心に残ったことを書く問題において、正答率は高くなっている一方で、無回答率が高い。</p>	<p>・話を聞く活動の際には、自分がどう思ったか自由に考えて伝える活動を継続させるとともに、ある一定の条件を与え、その課題についての意見を考えさせる場面を多く設定するようにする。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、市の平均を3.6ポイント上回った。</p> <p>○調べたことをまとめ、特徴を伝える書き方として適切な文章を選択させる問題や、結果を伝える適切な文章を選択する問題の正答率が高い。説明文の読み取りや、自分が伝えたいことをまとめて、理由と共に文章にする活動に取り組んできた成果が伺える。</p>	<p>・現在日記や日々の学習において、自分が考えていることを分かりやすく文章にする活動を重視して行っている。目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にしてまとめて文章にする活動を継続的に行っていきたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市の平均を2.1ポイント上回った。</p> <p>○目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、関連する言葉や文章を探して考える問題の正答率が高い。日々の学習において、内容理解の際に重要になる言葉や文章を考える活動に取り組んできた成果であると考えられる。</p> <p>●目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことに課題が残る。</p>	<p>・一部の文章に対しての内容理解だけではなく、物語や文章全体の構成や、段落の効果などを総合的・概観的に考える活動に取り組んでいきたい。段落の内容や、一部の文章が全体に及ぼす効果についても考えさせ、文章読解力を高めていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均を2.7ポイント上回った。</p> <p>○基本的な漢字を文中で正しく書く問題は正答率が高い。日々の漢字練習の成果が出ている。</p> <p>●同じ読みの漢字を意味を考えて正しく書く問題は正答率が低い。また、ことわざの意味を理解して正しく使う問題は正答率が低く、大きな課題が残る。</p>	<p>・普段の学習活動で使われている漢字は、継続的に練習を行い、習得していく。それに加えて漢字の成り立ち、文字の持つ意味を考えながら使い方を考える学習にも取り組んでいきたい。普段の生活で使うことのできる慣用句、ことわざに親しむ活動も設定し、児童の語彙力を高めていきたい。</p>

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	64.4	62.7	63.2
	量と測定	54.4	52.9	52.9
	図形	76.2	77.3	76.7
	数量関係	68.1	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	64.2	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	75.0	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	66.2	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市を1.7ポイント上回った。</p> <p>○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題に対する正答率が高い。学びロング等、基礎的事項の振り返りに力を入れた成果と考えられる。</p> <p>●ある量がもう一つの量の何倍かを問う問題に課題が残る。</p>	<p>・割合の計算の仕方の復習を繰り返して行い、定着を図っていく。</p> <p>・立式する際に、簡単な数字を使ってイメージをもたせられるように授業の展開を工夫するとともに個別に指導していく。</p>
量と測定	<p>平均正答率は、市の平均を1.5ポイント上回った。</p> <p>○示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方を記述する問題に対する正答率が高い。自分の考えを文章でまとめる活動に力を入れて取り組んできた成果と考えられる。</p> <p>●単位量あたりの大きさをもとに、求め方と答えを記述し、その結果から判断する問題に対する正答率がわずかに市・全国の平均を下回った。</p>	<p>・単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味が理解できていないので、問題の意味を捉え、図や数直線を活用して立式できるようにしていく。</p>
図形	<p>平均正答率は、市・全国の平均をわずかに下回った。</p> <p>○図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することを問う問題に対する正答率が高い。</p> <p>●台形についての理解を問う問題に対する正答率が市・全国の平均を下回った。</p>	<p>・台形の定義や面積の公式が身につけていないため、様々な単元においてその都度復習するとともに、普段から復習問題に取り組み定着を図る。</p>
数量関係	<p>平均正答率は、市・全国の平均をわずかに上回った。</p> <p>○目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すことを問う問題に対する正答率が高い。</p> <p>●棒グラフの読み取りに関する問題への正答率が低い。</p>	<p>・各種グラフから割合や変化の特徴を読み取ることができるよう復習をし、問題演習を繰り返す行うことで定着を図る。</p>

## 宇都宮市立雀宮南小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 基本的な生活習慣については起床時間や就寝時間など規則正しい生活が身に付いている。また、家族と学校の出来事について話すかどうかの質問では肯定的割合が90%を超えており、家族間の関係も良好である。学習活動においても、家庭と連携しながら進められる活動を設けて取り組んでいきたい。
- 学校においても先生との関係は良好であり、自己肯定感、将来の夢を抱く児童の割合が高い。日々の声掛けや夢や仕事を考える学習活動の成果が表れていると言える。
- 規範意識に関する設問では、肯定的割合が90%を超えている。「人が困っているときは、進んで助けていますか」という問題では94%の児童が肯定的回答をしており、心優しい児童が多いことが見受けられる。学校生活において、日々の生活指導や児童指導を継続して行っていきたい。
- 家庭学習においては、本校の目安である1時間以上取り組んでいる児童の割合は半数以上であり、自ら学習の計画を立てて勉強をしている児童の割合も7割を超えている。継続して取り組むように指導していきたい。
- 読書活動においては、「読書は好きですか」の設問には80%以上の児童が肯定的回答をしているが、普段の読書時間の少なさが目立ち、課題が残る。地域の図書館に足を運ぶ児童の割合も低く、イベントや図書館の紹介をすることで利用を促していきたい。
- 外国への興味関心も高い。「自分が住む地域を外国人に知ってもらいたいですか」の設問には95%以上の児童が肯定的に答えており、外国語活動の時間に各国の文化に触れている成果が出ていると感じる。
- ICTの活用について、授業であまりコンピューターを使っていない、もっと使いたいと感じている児童が多い。パソコン室の活用をより推進し、児童のICT能力の育成を目指したい。
- 各教科についての質問については、どの質問に対しても肯定的な回答が多く、学習に対する意欲の高さが感じられる。

## 宇都宮市立雀宮南小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の充実	自主学習の具体的なメニュー例を児童に示したり、学年だよりの「学びのまど」で発信したり、よい例を取り上げて児童に示したりして家庭学習への意欲を高めるようにしている。	自ら学習の計画を立てて学習している児童の割合が7割を超えている。
少人数指導・習熟度別学習の充実	算数の学習において、毎時間少人数指導または習熟度学習を行い、きめ細やかな指導を行っている。	算数の数と計算・量と測定の領域で、国と市の正答率を上回っている。数量関係の領域では、市の正答率を上回っている。

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
国語の言語についての知識・理解・技能の平均回答が国を上回ってはいるものの5割程度で低い。	言語に関する知識の定着	授業の中だけでなく、学校生活の中でことわざや慣用句を意図的に使う場面を設ける。学習した漢字の定着を目指す。
読書時間が少ないという結果が出ている。	図書館利用の充実	図書室を利用できる時間を拡大し、図書室に足が向くようにしていきたい。学校司書と連携を取り、いろいろな分野の本を読んだり、単元の学習内容に合った本を紹介してもらったりするなど本に親しむ機会を増やしていきたい。